

クリンソウ *Primula japonica* A.Gray

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 1、総点 11。美しい花をつける鑑賞価値の高い植物で、愛知県では園芸目的の採取により、減少傾向が著しい。

【形態】

多年生草本。葉は束生し、葉身は倒卵状長楕円形、長さ 15~40cm、幅 5~13cm、先端は円く、基部は次第に狭まって柄状になり、無毛、辺縁には不ぞろいな多数の歯牙がある。花期は 5~6 月、花茎は高さ 40~80cm になり、上部に多数の花を 2~5 段に輪生してつける。花冠は紅紫色で中央部は濃色になり、直径 2~2.5cm、筒部は長さ 1.5~1.7cm である。果実はさく果で球形、直径約 7mm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (村松正雄 25748, 2011-5-7)、4 津具 (小林 45726, 1993-7-31)、6 設楽西部 (小林 37795, 1992-6-14)、9 鳳来南部 (小林 62071, 1997-8-30)、11 作手 (芹沢 64795, 1993-5-1)。西：5 稲武 (小林 38010, 1992-6-28)、19 旭 (日比野修 1093, 1993-5-8)、20 足助 (芹沢 88538, 2013-7-6)。24 豊田東部 (山崎玲子 2817, 2003-5-9) でも採集されているが、これは植栽起源の可能性が高い。

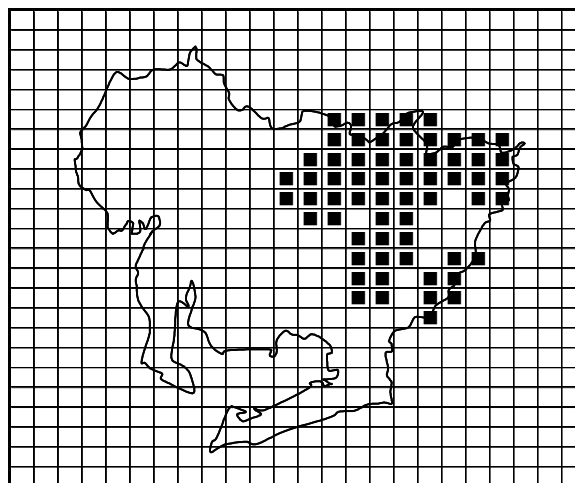
【国内の分布】

北海道、本州、四国。

【世界の分布】

日本固有種。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の沢沿いなどの湿地に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地	○			
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

長野県まで行けば比較的多いが、愛知県ではもともとそれほど多い植物ではない。人目につきにくい場所ではまだ小群落が点在するが、道路の近くなど目につきやすい場所ではほとんど持ち去られ、山麓の民家の庭などに栽培されていることが多い。

その一方で豊田市などでは、もともとなかった場所に植栽や播種が行われ、本来の自然状態に対する大きな脅威になっている。本来ないものは「ない」のが自然の状態であり、移入はどのような場合でもその自然状態を破壊する行為であることを認識する必要がある。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

和名は花が段になって輪生するからであるが、9 段には及ばない。

【関連文献】

保草本 I p.231, 平草本 III p.23, 平新版 4 p.200, SOS 旧版 p.69, SOS 新版 p.63,65.